

新年のご挨拶



神石高原町議会 議長

岡崎 眞

新年明けましておめでとございます。
みなさん、ご家族おそろいでよいお正月をお迎えのこと
と、心からおよろこび申し上げます。

日頃から神石高原町議会にご支援ご協力を賜り厚くお礼
申し上げます。

神石高原町も4度目の新春を迎えることができました。
本年の11月に行なわれる町議会議員選挙の定数について
1年間協議し、昨年の12月定例議会で議員定数を4名減の
14名と決定いたしました。合併後、新町も常に財政難につ
きまるとわれる中での議決でした。

なにとぞご理解いただきしたいと思います。

歴史上にも類をみない「少子高齢化社会」が歯止めなく
進行して行く状況のなかで「資本主義経済」の高速回転で
「格差」の急激な拡大など、多くの課題を越年しました。

高齢化社会での県立病院の存続、少子化での学校再編の
検討、集落法人の設立による農業の復活、井関地域定住園
地整備事業、等々の課題に建前論ではなく本音の議論を交
わして、新町建設のために、託していただいたこの1年に
全力で努力を続ける決意であります。

どうか今年1年、一層のご指導ご協力をいただきますと
ともに、みなさまのご多幸を心からお祈り申し上げ新年の
ごあいさつといたします。

条例改正・補正予算

こんなことが **決** まりました

(敬称は省略させていただきます)

農業委員会委員に
小坂大輔(有木)を議会推薦

教育委員に
高崎みどり(笹尾)を再任

固定資産評価審査委員の
選任に同意

- ・宇賀拓郎(油木)
- ・黒川勝(古川)
- ・江草忠行(下豊松)
- ・川上忠義(井関)

人権擁護委員に
赤木千恵子(下豊松)を推薦

議員定数が14に決まる

賛成 16 反対 1

議員定数を現行の18から14にする
議員提案の条例案が
賛成多数で可決

提案者 藤田 晃己 議員 賛成者 松本 彰夫 議員

提案理由

合併後3年が経過、公債費比率は18.9%から21%へ
さらに悪化した。

国の三位一体改革による地方交付税の減少や補助金・
交付金が縮減。議員自らが身を削り、持続可能な行財政
運営がなされることを願う。